

# Annals of Uonuma Kikan Byoin

vol.6 2021.4-2022.3



新潟大学地域医療教育センター  
魚沼基幹病院



## 目次

巻頭言	魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一
診療部	
・ 総合診療科	1
・ 内分泌・代謝内科	3
・ 血液内科	4
・ 腎臓内科（リウマチ科・膠原病科）	8
・ 呼吸器・感染症内科	9
・ 消化器内科	10
・ 神経内科	14
・ 精神科	15
・ 小児科	16
・ 消化器外科・一般外科（乳腺外科）	17
・ 呼吸器外科	19
・ 整形外科	20
・ 脳神経外科	26
・ 皮膚科	28
・ 泌尿器科	29
・ 耳鼻咽喉科	30
・ 産婦人科	31
・ 放射線治療科	33
・ 麻酔科	34
・ 歯科口腔外科	35
・ 病理診断科	36
感染管理部	37
薬剤部	39
医療技術部	
・ 放射線技術科	40
・ 臨床検査科	41
・ リハビリテーション技術科	42
・ 臨床工学科	45
・ 栄養管理科	46
看護部	47
UKB リサーチ 2021	48
院内研修会	50



## 巻 頭 言

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、まだまだ収束する気配を見せておらず、当院も職員全員がその対応に追われている毎日です。魚沼基幹病院は、魚沼医療圏唯一の感染症指定医療機関として、これまで県内で6番目の入院患者さんを受け入れています。一方、この地域で高度医療、救急医療を担うという使命も果たしていると思っています。そのような中で、この度、令和3年度の業績集 Annals of Uonuma Kikan Byoin vol.6 2021.4-2022.3 を刊行することができたことに、改めて各診療科、各部門の皆さんのご努力に、敬意を表したいと思います。

当院は開院から8年を迎えましたが、昨年度、開院10年目の魚沼基幹病院のあるべき姿、将来ビジョンを、「地域をつなぎ、いのちをつなぐ。-地域全体でひとつの病院を実践-。魚沼基幹病院は高度医療・救急医療を担い、周辺医療機関と連携して地域に貢献」と定め、取組の方向性として、1 魚沼地域で担うべき、すべての領域の高度医療を提供できる診療機能の充実を図る。2 地域での救急医療の完結性を高めるため、救急医療の拠点性向上及び連携強化を図る。3 医療連携・医師派遣を通じて、周辺医療機関・地域に専門性の高い医療を提供する。4 地域医療・高度医療を担う「医療人」の育成に向けた、教育・研修機能を強化する。の4つの柱を掲げました。

取組の方向性1、2、3は、まさに当院がこの地域で基幹病院として果たすべき役割ですが、さらに4つ目には、開院以来病院の独立した組織として教育研修推進部があり、あらためて教育・研修機能の強化を掲げ、各種「医療人」を育成することを表明しました。また、当院は新潟大学地域医療教育センター（正式名は新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター）を併設しており、教育研究に力を注ぐことも当院の重要なミッションと思っています。

今回の業績集を拝見すると、診療部の各診療科はもとより、医療安全管理部、感染管理部、薬剤部、医療技術部（放射線技術科、臨床検査科、リハビリテーション技術科、臨床工学科、栄養管理科）、そして看護部の皆さんから多数の業績を報告いただいております。さらに、UKB リサーチ 2021 の発表演題や、地域の医療機関から紹介いただいた症例を検討するUKB Case Conferenceなどの各種院内研修会についても報告いただいております。

各自がご自分が所属する部署の業績を振り返るとともに、他部署の業績にも目を通していただければと思います。そして、これからも、当院が魚沼地域で果たすべき基幹病院としての診療機能の提供とともに、教育、研修、そして研究にも力を入れていただくことを期待しています。

令和4年9月

一般財団法人新潟県地域医療推進機構  
魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一



## 論文(原著)

Kabasawa K, Nakamura K, Ito Y, Tanaka J, Narita I.

Association between estimated GFR based on cystatin C and grip strength in community-dwelling Japanese older adults.

J Gerontol A Biol Sci Med Sci 76(9): 1653-1660, 2021.

Kabasawa K, Tanaka J, Komata T, Matsui K, Nakamura K, Ito Y, Narita I.

Determination of specific life changes on psychological distress during the COVID-19 pandemic.

PLoS One 16(8): e0256481, 2021.

Hinata A, Kabasawa K, Watanabe Y, Kitamura K, Ito Y, Takachi R, Tsugane S, Tanaka J, Sasaki A, Narita I, Nakamura K.

Education, household income, and depressive symptoms in middle-aged and older Japanese adults.

BMC Public Health 21(1): 2120, 2021.

Kabasawa K, Hosojima M, Ito Y, Matsushima K, Tanaka J, Hara M, Nakamura K, Narita I, Saito A.

Association of metabolic syndrome traits with urinary biomarkers in Japanese adults.

Diabetol Metab Syndr 14(1): 9, 2022.

Mori N, Sawada N, Yamamoto J, Ishihara J, Shimazu T, Takachi R, Murai U, Nakamura K, Tanaka J, Yamaji T, Iwasaki M, Iso H, Kobori M, Tsugane S.

Validity of dietary isothiocyanate intake estimates from a food frequency questionnaire using 24h urinary isothiocyanate excretion as an objective biomarker: the JPHC-NEXT protocol area.

Eur J Clin Nutr 76(3): 462-468, 2022.

Hose Y, Ishihara J, Kotemori A, Nakadate M, Maruya S, Tanaka J, Yatsuya H, Aoyama A, Chiang C, Konta T, Kayama T, Ueno Y, Inoue M, Sawada N, Tsugane S, Takachi R.

Applicability of a web-based 24-hour dietary recall tool for Japanese populations in large-scale epidemiological studies.

J Epidemiol doi: 10.2188/jea.JE20220071, 2022.

## 著書など

田中純太.

これって病気かな 総合診療医のみかた「診方（足のむくみ）」

新潟日報 2021年8月9日 朝刊, 11版, 健康面, 20頁, 新潟日報, 2021.

田中純太.

災害時のトリアージ：一次救命処置：救急初期対応総論  
内科救急診療指針 2022, 21-22 頁, 総合医学社, 2022.

## 学会・研究会・講演会

Kabasawa K, Matsushita K, Takachi R, Nakamura K, Ito Y, Tanaka J, Narita I.

Associations of urinary and dietary sodium-to-potassium ratios with albuminuria in community-dwelling  
Japanese adults: A cross-sectional study.

Kidney Week 2021 (ポスター)

(San Diego, 2021 年 11 月 2 日～7 日)

田中純太.

希釈性貧血で受診した実業団陸上長距離選手の 1 例.

第 32 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (ポスター)

(東京, 2021 年 11 月 13 日～14 日)

蒲澤佳子、中村和利、伊藤由美、田中純太、成田一衛.

地域住民におけるシスタチン C による eGFR と握力の関連性の検討.

第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会 (ポスター)

(仙台, 2021 年 3 月 20 日～21 日) 補遺

## 論文(総説)

Hinata Y, Ohara N, Komatsu T, Sakurai Y, Yoneoka Y, Seki Y, Akiyama K, Sone H.

Central diabetes insipidus after syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion with severe hyponatremia in a patient with Rathke's cleft cyst.

Intern Med 61(2): 197-203, 2022.

## 論文(症例報告)

Hinata Y, Ohara N, Sakurai Y, Koda R, Yoneoka Y, Takada T, Hara N, Nishiyama T.

Isolated adrenocorticotrophic hormone deficiency associated with severe hyperkalemia during pembrolizumab therapy in a patient with ureteral cancer and an ileal conduit: A case report and literature review.

Am J Case Rep 22: e931639, 2021.

Ohara N, Kobayashi M, Yoneoka Y, Hasegawa G, Aoki Y, Nakamura Y, Kazama Y, Nishiyama T.

Primary aldosteronism presenting with hypertension five days after delivery: A case report and literature review.

Intern Med 61(4): 507-512, 2022.

## 学会・研究会・講演会

深井悠未、小原伸雅.

2型糖尿病との鑑別に難渋した糖尿病性ケトアシドーシスで発症したインスリン自己抗体陽性1型糖尿病の1例.

第149回日本内科学会信越地方会(口演)

(新潟, 2021年10月9日)

論文(原著)

関義信.

ジャーナルクラブ : ROTEM による COVID-19 重症肺炎患者の凝固能評価.  
血栓止血誌 32(4): 552-554, 2021.

関義信.

ジャーナルクラブ : 深部静脈血栓症除外のための臨床症状と D ダイマーを利用した簡易な診断.  
血栓止血誌 32(5): 644-646, 2021.

関義信.

ジャーナルクラブ : siRNA フィツシランによる血友病 A および B におけるアンチトロンビンの標的療法—インヒビター群での第 I 相結果—  
血栓止血誌 32(6): 796-798, 2021.

Seki Y, Honda G, Kawano N, Uchiyama T, Kawasugi K, Madoiwa S, Takezako N, Takayuki I, Wada H.

Clinical Features of Disseminated Intravascular Coagulation According to the French-American-British Classification in Patients With Acute Leukemia and Thrombomodulin Alfa Treatment-A Cohort Study Using a Postmarketing Surveillance Database.  
Clin Appl Thromb Hemost 27: doi: 10.1177/10760296211054094 , 2021.

Madoiwa S, Honda G, Kawano N, Uchiyama T, Kawasugi K, Takezako N, Suzuki K, Seki Y, Ikezoe T, Okamoto K, Wada H.

An evaluation of the Japanese Society on Thrombosis and Hemostasis criteria for disseminated intravascular coagulation as a predictor of prognosis in patients with infection.  
Int J Lab Hematol 43(6): 1566-1574, 2021.

Kawasugi K, Wada H, Honda G, Kawano N, Uchiyama T, Madoiwa S, Takezako N, Suzuki K, Seki Y, Ikezoe T, Iba T, Okamoto K.

Hypofibrinogenemia is associated with a high degree of risk in infectious diseases: a post-hoc analysis of post-marketing surveillance of patients with disseminated intravascular coagulation treated with thrombomodulin alfa.  
Thromb J 19(1): doi: 10.1186/s12959-021-00264-z , 2021(補遺).

佐野秀人、蓮見恵司、関義信.

2020Hot Topics : 線溶分野.  
血栓止血誌 32(1): 80-82, 2021(補遺).

## 著書など

### 関義信.

Heart Hospital

Cross Heart, 5-6 頁, JB 日本血液製剤機構, 2021.

### 関義信.

患者さんはそれぞれの生活に合わせた治療法を主治医と相談し、より安心して冬をすごす.

Quatre Vents, 2-4 頁, サノフィ株式会社, 2021.

## 学会・研究会・講演会

Y Seki, T Ushiki, M Masuko, J Takizawa, H Sone, N Okumura.

A patient with congenital hypofibrinogenemia who showed embryo implantation, continuation of pregnancy, and delivery following continuous transfusion of dry human fibrinogen preparations.

XXIX Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis (ISTH 2021) (ePoster)

(Philadelphia, U.S.A., 2021 年 7 月 17 日～21 日)

### Y Seki.

How to proceed with hemophilia treatment.

Virtual Global Scientific Exchange Meeting Haemophilia (講演・Web)

(2021 年 9 月 21 日)

### 関義信.

血栓止血診療の重要性－薬剤師の先生方に知っておいて頂きたいこと－

2021 新潟県病院薬剤師会学術講演会 (講演)

(新潟市, 2021 年 5 月 20 日)

### 関義信.

「がんサポーターケアのための漢方活用ガイド」のこれからの課題.

第 6 回日本がんサポーターケア学会学術集会 (講演・Web・シンポジスト)

(埼玉, 2021 年 5 月 29 日)

関義信、牛木隆志、増子正義、瀧澤淳、曾根博仁、奥村伸生.

乾燥人フィブリノゲン製剤の継続輸注で着床・妊娠継続・出産をし得た先天性低フィブリノゲン血症.

第 43 回日本血栓止血学会学術集会 (口演・Web)

(宮崎, 2021 年 5 月 30 日)

関義信、古俣妙、岡村駿介、関田浩之、布施一郎.

新潟県合同輸血療法委員会における看護部会の設置方法およびその後の課題と展望.

第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 (口演・Web)

(東京, 2021 年 6 月 5 日)

関義信.

進歩したがん診療と魚沼地域の現状と課題.

第 32 回魚沼 Common Disease 研究会 (講演・シンポジスト)

(南魚沼市, 2021 年 7 月 3 日)

関義信.

血友病の診断と治療については是非抑えておきたいこと.

血液疾患セミナー in 甲信越 (講演・Web)

(2021 年 7 月 13 日)

関義信.

APTT 延長をきたす致命的疾患に注意.

WEB セミナー 2021 (講演・Web)

(2021 年 8 月 26 日)

関義信.

血液内科診療での DIC.

血液内科 DIC フォーラム (講演・Web)

(静岡市, 2021 年 9 月 3 日)

鈴木隆晴、海發茜、関義信.

潰瘍性大腸炎寛解中にステロイド抵抗性の自己免疫性血小板減少性症を併発した 1 例.

第 83 回日本血液学会学術総会 (口演・Web)

(仙台市, 2021 年 9 月 23 日)

関義信.

Behavior of von Willebrand factor in essential thrombocythemia.

MPN Web Forum (講演・Web)

(2021 年 10 月 14 日)

関義信.

DIC/TMA

第 9 回日本血栓止血学会教育セミナー (口演・Web)

(2021 年 11 月 7 日)

関義信.

がん関連静脈血栓症に関するエビデンス収集の試み.

第 68 回日本臨床検査医学会総会 (講演・Web・シンポジスト)

(富山市, 2021 年 11 月 12 日)

関義信.

がんサポーターシップケアがん支持療法に対する漢方の活用.

十日町市中魚沼郡漢方学術 WEB 講演会 (講演・Web)

(十日町市, 2021 年 11 月 16 日)

関義信.

新潟県合同輸血療法委員会の活動 および研究と septic DIC の治療.

新潟市民病院院内輸血講演会 (講演・Web)

(新潟市, 2021 年 11 月 19 日)

鈴木隆晴、関義信。

固形がんによる DIC—分かっていること・未だ分かっていないこと—

第 16 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム（講演・Web・シンポジスト）（東京，2022 年 2 月 19 日）

## **研究費(その他)**

関義信：令和 3 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業（厚生労働省） 2021～2022 年度

血液搬送装置 ATR を活用したへき地・離島を含む広域ブラッドローテーションにより、新潟県での血液製剤有効利用を図る研究。

## 論文(原著)

甲田亮、土田雅史、宮崎慧、吉澤優太、飯野則昭、成田一衛.

透析医療における災害対策\_豪雪

臨床透析 37(8): 753-757, 2021.

Masanori Sudo, Kazuhiro Yoshita, Yumi Ito, Naofumi Imai, Noriaki Iino, Ichiei Narita.

Histopathological features of kidney and renal prognosis in patients with preeclampsia.

Pregnancy Hypertens 25: 75-80, 2021.

Yuta Yoshizawa, Michihiro Hosojima, Hideyuki Kabasawa, Naohito Tanabe, Atsushi Miyachi, Hitoshi Hamajima, Eri Mieno, Masaki Kobayashi, Tadahiro Kitamura, Ichiei Narita, Akihiko Saito.

Measurement of Plasma Glucagon Levels Using Mass Spectrometry in Patients with Type 2 Diabetes on Maintenance Hemodialysis.

Kidney Blood Press Res 46(5): 652-656, 2021.

Ito K, Ookawara S, Imai S, Kakuda H, Bandai Y, Fueki M, Yasuda M, Kamimura T, Kiryu S, Wada N, Hamashima Y, Shindo M, Kobayashi T, Sanayama H, Kaku Y, Tanno K, Ohnishi Y, Iino N, Dezaki K, Kakei M, Tabei K, Morishita Y.

Muscle mass evaluation using psoas muscle mass index by computed tomography imaging in hemodialysis patients.

Clin Nutr ESPEN 44: 410-414, 2021

Wada T, Hara A, Muso E, Maruyama S, Kato S, Furuichi K, Yoshimura K, Toyama T, Sakai N, Suzuki H, Tsukamoto T, Miyazaki M, Sato E, Abe M, Shibagaki Y, Narita I, Goto S, Sakamaki Y, Yokoyama H, Mori N, Tanaka S, Yuzawa Y, Hasegawa M, Matsubara T, Wada J, Tanabe K, Masutani K, Abe Y, Tsuruya K, Fujimoto S, Iwatsubo S, Tsuda A, Suzuki H, Kasuno K, Terada Y, Nakata T, Iino N, Sofue T, Miyata H, Nakano T, Ohtake T, Kobayashi S; LICENSE study Group.

Effects of LDL apheresis on proteinuria in patients with diabetes mellitus, severe proteinuria, and dyslipidemia.

Clin Exp Nephrol 25(1): 1-8, 2021 (補遺)

## 学会・研究会・講演会

甲田亮、吉澤優太、飯野則昭、成田一衛.

扁桃炎後の腎炎急性増悪を組織学的に確認し得た IgA 血管炎の一例.

第 51 回東部腎臓学会学術集会総会 (口演・Web)

(2021 年 9 月 25 日)

甲田亮.

サルコイドーシスの経過中に発症した不明熱の一例.

第 149 回日本内科学会信越地方会 (教育講演)

(新潟市, 2021 年 10 月 9 日)

## 論文(原著)

Bamba Y, Nagano K, Moro H, Ogata H, Hakamata M, Shibata S, Koizumi T, Aoki N, Ohshima Y, Watanabe S, Nakamura T, Kobayashi S, Hoshiyama Y, Koya T, Takada T, Kikuchi T.

Efficacy of the new  $\beta$ -D-glucan measurement kit for diagnosing invasive fungal infections, as compared with that of four conventional kits.

PLoS One 16(8): e0255172, 2021.

## 論文(症例報告)

Takada T, Asakawa K, Barrios R.

A Japanese-American female with rapidly progressive interstitial lung disease associated with clinically amyopathic dermatomyositis.

Clin Rheumatol 40(3): 1159-1165, 2021.

## 著書など

高田俊範.

溶接工肺

別冊日本臨床 No.19 呼吸器症候群 (第3版) III, 246-249 頁, 日本臨床社, 2021.

## 学会・研究会・講演会

大橋和政、伊藤竜、高田俊範.

広範な肺野浸潤影を認め、剖検で血管内リンパ腫と診断された一例.

第86回呼吸器合同北陸地方会 (一般演題)

(新潟, 2021年5月30日)

## 研究費(科学研究費)

高田俊範: 分担 基盤研究費 (C) 20K08537 2020~2022年度

血球吸着モデルを用いた LAM 患者におけるシロリムス最適薬用量決定法の提案

高田俊範: 分担 基盤研究費 (C) 20K08536 2020~2022年度

肺 MAC 症におけるバイオマーカー CXCL10 の有用性について

## 論文(原著)

Morita S, Sugawara S, Suda T, Hoshi T, Abe S, Yagi K, Terai S.

Conversion of percutaneous transhepatic biliary drainage to endoscopic ultrasound-guided biliary drainage.  
DEN Open 1(1): e6, 2021.

八木一芳、寺井崇二.

拡大内視鏡（胃炎の診断）

胃と腸 56(5): 612-613, 2021.

Suda T, Yoshikawa S, Kanefuji T, Abe S, Hoshi T, Morita S, Yagi K, Terai S.

Suppression of Noncoding RNAs as Shared Early Genetic Events in Multistep Hepatocarcinogenesis.  
Hepatology 74(6): 3542-3545, 2021.

八木一芳、星隆洋、阿部聡司、森田慎一、須田剛士、中村厚夫、寺井崇二.

除菌後発見胃癌の内視鏡診断 通常観察の見地から：NBIを用いた green epithelium の視点からの観察法.

胃と腸 57(1): 30-39, 2022.

## 論文(症例報告)

Suda T, Iguchi R, Ishiyama T, Kanefuji T, Hoshi T, Abe S, Morita S, Yagi K.

A Superinfection of Salmonella typhi and Hepatitis E Virus Causes Biphasic Acute Hepatitis.  
Int Med 60(11): 1717-1722, 2021.

Morita S, Takada T, Ohashi N, Terai S.

Tuberculous spondylitis in a woman without pulmonary lesions.

Intern Med 60(13): 2157-2158, 2021.

Motegi S, Yokoo T, Nozawa R, Azumi R, Kawata Y, Ogawa K, Setsu T, Mizuno K, Nishino K, Umezu H, Kawai H,  
Suda T, Terai S.

Long-term survival of 11 years with multidisciplinary therapy for hepatocellular carcinoma metastasis to the ovary and peritoneum: a case report.

Clin J Gastroenterol 14(4): 1211-1220, 2021.

## 著書など

八木一芳.

序文

胃の拡大内視鏡 病理対比アトラス, v 頁, 医学書院, 2021.

## 学会・研究会・講演会

八木一芳.

除菌後胃癌の復習および胃癌の発生理論.

Nexium Online Symposium in Suzuka (講演・Web)

(鈴鹿市, 2021年4月6日)

八木一芳.

ピロリ感染による胃粘膜萎縮、腸上皮化生および胃癌発生の機序について(前半)

第4回福島県拡大内視鏡カンファランス (講演・Web)

(2021年4月14日)

八木一芳.

酸関連疾患およびピロリ陰性時代における胃癌の内視鏡診断.

Nexium Online Symposium in Tsukuba (講演・Web)

(つくば市, 2021年4月21日)

八木一芳.

拡大内視鏡観察と組織像の一対一対応から学んだこと, そして中間帯からの胃癌発生の検討.

第90回日本病理学会関東支部学術集会 (講演・Web)

(越谷市, 2021年5月5日)

八木一芳.

ピロリ感染による胃粘膜萎縮、腸上皮化生および胃癌発生の機序について(後半)

第5回福島県拡大内視鏡カンファランス (講演・Web)

(2021年5月12日)

八木一芳.

除菌後胃癌の内視鏡診断.

The 9th West Lake Forum of Digestive Endoscopy (講演・Web)

(中国杭州市, 2021年6月19日)

八木一芳.

除菌後胃癌の復習および胃癌の発生理論.

Otsuka Online Symposium in Iwate (講演・Web)

(奥州市, 2021年7月13日)

Takeshi Suda.

Metabolic syndrome and NASH –Diagnostic and Therapeutic Strategy–

The 211th Symposium PEPSIN, Faculty of Medicine, Sebelas Maret University Principle of Diagnosis and

Therapy in Gastroenterohepatology Cases (講演・Web) (Surakarta, Indonesia, 2021年7月18日)

Kazuyoshi Yagi.

The mechanism of development of intestinal metaplasia and adenocarcinoma in stomach due to H.pylori -

Histological and genetic study -

Diagnosis and treatment of early Gastrointestinal cancer Zunyi Congress (講演・Web) (2021年7月25日)

八木一芳.

除菌後発見胃癌の内視鏡診断.

第16回日本消化管学会教育講演会 (講演・Web) (2021年9月5日)

Kazuyoshi Yagi.

Regular arrangement of collecting venules: A characteristic endoscopic finding of H.pylori uninfected stomach.

第27回日本ヘリコバクター学会学術集会 (講演・Web) (2021年9月24日)

八木一芳.

ピロリ菌感染と胃癌発生について.

第65回日本内科学会信越支部主催 生涯教育講演会 (講演) (新潟市, 2021年10月9日)

森田慎一.

BONA STENT を使いこなす (私の考え方、留置法)

メディコスヒラタ Web Conference (講演・Web) (2021年10月27日)

八木一芳.

第101回日本内視鏡学会総会上部コアセッション・シンポジウムの要約報告.

JDDW 2021 JGE core Session Advancer upper GI endoscopic diagnosis for decision making on therapeutic

strategy (講演) (神戸市, 2021年11月5日)

星隆洋、阿部聡司、森田慎一、八木一芳、須田剛土、寺井崇二.

早期胃癌に対する ESD 後画像検査としての CT の有用性.

第29回日本消化器関連学会週間 (ポスター・Web) (神戸市, 2021年11月6日)

須田剛土.

肝臓 代謝の中心臓器 –働き、病態、注意点–

魚沼保健所 肝炎講演会・相談会 (講演) (魚沼市, 2021年11月10日)

八木一芳.

ピロリ菌未感染胃からの胃癌と除菌後発見胃癌.

第 33 回日本消化器内視鏡学会甲信越セミナー (講演・Web)

(2022 年 1 月 23 日)

八木一芳.

White zone の読みについて.

第 8 回長岡消化器画像研究会 (講演)

(長岡市, 2022 年 2 月 5 日)

八木一芳.

ピロリ菌未感染胃からの胃癌と除菌後発見胃癌.

横浜医師会講演会 (講演・Web)

(横浜市, 2022 年 2 月 25 日)

八木一芳、星隆洋、阿部聡司、森田慎一、須田剛士、寺井崇二.

ピロリ菌感染による慢性胃炎の内視鏡診断.

第 94 回日本胃癌学会総会 (講演・Web)

(横浜市, 2022 年 3 月 4 日)

## 研究費(科学研究費)

八木一芳 : 代表 基礎研究 (C) 19K08389 2019~2022 年度

胃癌発生腺管の 3D 組織構築と遺伝子解析からの検討

八木一芳 : 分担 基礎研究 (C) 19K08462 2019~2022 年度

小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸収に対する調節機能の解明

## 論文(原著)

Calandra-Buonaura G, Alfonsi E, Vignatelli L, Benarroch EE, Giannini G, Iranzo A, Low PA, Martinelli P, Provini F, Quinn N, Tolosa E, Wenning GK, Abbruzzese G, Bower P, Antonini A, Bhatia KP, Bonavita J, Pellecchia MT, Pizzorni N, Tison F, Ghorayeb I, Meissner WG, Ozawa T, Pacchetti C, Pozzi NG, Vicini C, Schindler A, Cortelli P, Kaufmann H.

Dysphagia in multiple system atrophy consensus statement on diagnosis, prognosis and treatment.

Parkinsonism Relat Disord 86: 124-132, 2021.

Sainouchi M, Hatano Y, Tada M, Ishihara T, Ando S, Kato T, Tokunaga J, Ito G, Miyahara H, Toyoshima Y, Yokoseki A, Ozawa T, Akazawa K, Onodera O, Kakita A.

A novel splicing variant of ANXA11 in a patient with amyotrophic lateral sclerosis: histologic and biochemical features.

Acta Neuropathol Commun 9(1): 106, 2021.

Sakata Y, Kanazawa M, Hatakeyama M, Konno T, Ozawa T, Onodera O.

Do patients with multiple system atrophy have decreased nocturnal urinary concentration?

Clin Auton Res 31(6): 787-790, 2021.

## 論文(症例報告)

Yasuko Toyoshima, Hitoshi Takahashi, Shinnichi Katada, Naoyuki Kojima, Mari Tada, Takashi Tani, Ryoko Koike, Takanori Nozawa, Izumi Aida, Takashi Nakajima, Osamu Onodera and Akiyoshi Kakita.

Parkinson's disease and parkinsonism: Clinicopathological discrepancies on diagnosis in three patients.

Neuropathology 41: 450-456, 2021.

## 著書など

小澤鉄太郎.

失神.

内科学 第12版, 195-197頁, 朝倉書店, 2021(補遺).

**学会・研究会・講演会**

横山航平、伊藤竜、目崎恵、坂上仁、大竹裕美、菊地佑。

当院精神科での新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応の現状 ―精神病床入院を要した4症例を中心に―

第24回新潟GHP研究会（口演・Web）

（2022年2月5日）

## 論文(原著)

Suzuki H, Horie M, Ozawa J, Sumitomo M, Ohno S, Hoshino H, Ehara K, Takahashi K, Maeda Y, Yoshinaga M, Tateno S, Takagi S, Doi S, Hoshina S, Sato I, Ishikawa T, Makita N, Chinushi M, Akazawa K, Nagashima M.  
Novel Electrocardiographic Criteria for Short QT Syndrome in Children and Adolescents.  
Europace 23(12): 2029-2038, 2021.

## 著書など

鈴木博.

QT 延長・短縮の機序

臨床検査 第 65 巻 8 号, 868-873 頁, 医学書院, 2021.

## 学会・研究会・講演会

鈴木博、小澤淳一、星名哲、佐藤勇.

小児期・思春期における QT 短縮症候群の新たな心電図指標.

第 233 回日本小児科学会新潟地方会 (リサーチトピックス)

(新潟市, 2021 年 5 月 8 日)

鈴木博.

包括的、経年的評価を可能にする学校検診データの管理システムの構築.

第 57 回日本小児循環器学会学術集会 (パネルディスカッション)

(奈良, 2021 年 7 月 9 日～11 日)

加藤夏生、田所宏啓、佐藤大祐、田嶋直哉、小嶋絹子、鈴木博.

意識消失を契機に脳波異常を指摘された QT 延長症候群 2 型の 1 例.

第 234 回日本小児科学会新潟地方会 (一般演題)

(新潟市, 2021 年 12 月 11 日)

## 論文(原著)

Ando T, Sakata J, Nomura T, Takano K, Takizawa K, Miura K, Hirose Y, Kobayashi T, Ichikawa H, Hanyu T, Shimada Y, Nagahashi M, Kosugi SI, Wakai T.

Anatomic location of residual disease after initial cholecystectomy independently determines outcomes after re-resection for incidental gallbladder cancer.

Langenbecks Arch Surg 406(5): 1521-1532, 2021.

Kosugi SI, Aizawa N, Ichikawa H, Magara J, Hanyu T, Ishikawa T.

Comprehensive Assessment of Swallowing Function Before and After Abdominal Surgery Including Thoracoabdominal Esophagectomy.

Indian J Surg 83: 1139-1145, 2021.

Oiwa T, Takahashi M, Hirano K, Sato Y, Sunami E, Kosugi SI.

Feasibility and educational value of fluorescence cholangiography in laparoscopic cholecystectomy.

Asian J Endosc Surg 14(4): 767-774, 2021.

## 論文(症例報告)

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、大岩智、長谷川剛。

腋窩副乳癌に対しセンチネルリンパ節生検 (SLNB) 手術を施行した 1 例。

乳癌の臨床 36(5): 399-406, 2021.

## 著書など

小杉伸一。

病院めぐり 新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院外科

臨床外科, 371 頁, 医学書院, 2021 (補遺)。

## 学会・研究会・講演会

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子。

当科にて経験した乳腺癌肉腫の 1 例。

第 29 回日本乳癌学会学術集会 (デジタルポスター)

(神奈川, 2021 年 7 月 1 日~3 日)

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子、大岩智。

術中 ICG 蛍光法を用いて腸管血流を確認し、大量腸切除を回避できた絞扼性イレウスの 1 例。

第 83 回日本臨床外科学会総会（口演）

（東京，2021 年 11 月 18 日～20 日）

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子。

ABTHERA ドレッシングキットを用いた腹部開放管理にて早期に閉腹可能となった外傷性脾破裂の 1 例。

第 58 日本腹部救急医学会総会（ポスター）

（東京，2022 年 3 月 24 日～25 日）

## 研究費(科学研究費)

小杉伸一：分担 基盤研究費（C）19K09117 2019～2021 年度

HER2 陽性胃癌における遺伝子異常の包括的評価と臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費（C）19K09165 2019～2021 年度

胃癌マイクロサテライト不安定性評価の検証と薬物治療における臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費（C）19K09212 2019～2021 年度

NOTCH シグナルを介した食道癌化学療法奏効性の分子機構の解明

学会・研究会・講演会

橋本毅久.

EWS と肺切除腔へのドレーン挿入をおこなった膿胸合併術後肺ろうの一例.

第 9 回新潟呼吸器外科手術手技研究会 (口演)

(新潟, 2021 年 10 月 2 日)

土田正則、清水勇希、後藤達哉、小池輝元、古泉貴久、青木 正、齋藤正幸、篠原博彦、古屋敷 剛、北原哲彦、

橋本毅久、渡辺健寛.

小型肺癌に対する治療 手術 vs 定位放射線治療 (SBRT) 手術第一選択の立場から.

第 74 回日本胸部外科学会定期学術総会 (口演)

(東京, 2021 年 10 月 31 日~11 月 3 日)

論文(原著)

Koda M, Hanaok H, Hirano T, et al

Randomized trial of granulocyte colony-stimulating factor for spinal cord injury.  
Brain 144(3): 789-799, 2021.

Taniguchi Y, Ohara T, Hirano T, et al

Incidence and Risk Factors for Unplanned Return to the Operating Room Following Primary Definitive Fusion for Pediatric Spinal Deformity: A Multicenter Study with Minimum 2-year Follow-up.  
Spine 46(8): E498-504, 2021.

Ishikawa Y, Ohashi M, Hirano T, et al

Mid- to Long-Term Outcomes After Resection of Thoracic Dumbbell Tumors Managed by Laminectomy and Unilateral Total Facetectomy Without Instrumented Fusion.  
Global Spine J: Epub ahead of print, 2021.

若杉正嗣、平野徹、生越章.

仙骨管の形態に関する検討.  
整形・災害外科 64(7): 915-918, 2021.

竹内峻、平野徹、白旗正幸、目良恒、若杉正嗣、植木将人、鄭賢皓、佐野博繁、生越章.

Crowned dens syndrome 19 症例の臨床的検討.  
東北整災 64(1): 5-9, 2021.

若杉正嗣、平野徹、生越章.

頸椎脊柱管前後径および大後頭孔前後径の画像計測.  
整形・災害外科 64(8): 1017-1022, 2021.

Watanabe K, Yamaguchi T, Hirano T, et al

Surgical Site Infection Following Primary Definitive Fusion for Pediatric Spinal Deformity: A Multicenter Study of Rates, Risk Factors, and Pathogens.  
Spine 46(16): 1097-1104, 2021.

Inose H, Kato T, Hirano T, et al

Risk factors for subsequent vertebral fracture after acute osteoporotic vertebral fractures.  
Eur Spine J 30(9): 2698-2707, 2021.

勝見敬一、渡邊慶、平野徹ほか

頸椎後縦靱帯骨化症の骨化進展と骨代謝動態の解析.

J Spine Res 12(9): 1167-1173, 2021.

Sawakami K, Watanabe K, Hirano T, et al

Neoadjuvant teriparatide therapy targeting the osteoporotic spine: influence of administration period from the perspective of bone histomorphometry.

J Neurosurg Spine: Epub ahead of print, 2021.

生越章、平野徹、目良恒、白旗正幸、植木将人、佐野博繁、荒引剛、鄭賢皓、五十嵐哲也、松本一則、川島寛之.

一般総合病院の整形外科におけるがん診療の実態調査 がんとロコモティブシンドロームの実際.

臨床整形外科 56(11): 1387-1393, 2021.

Watanabe K, Ohashi M, Hirano T, et al

Significance of long corrective fusion to the ilium for physical function in patients with adult spinal deformity.

J Orthop Sci. 26(6): 962-967, 2021.

Makino T, Katsumi K, Hirano T, et al

Detailed features and prognostic factors of twenty-three patients with drop finger caused by cervical radiculopathy: a retrospective multicentre study.

Int Orthop. 45(11): 2909-2916, 2021.

Murayama Y, Kawashima H, Kubo N, Shin C, Kasahara Y, Imamura M, Oike N, Ariizumi T, Saitoh A, Mihara K, Umezu H, Ogose A, Imai C.

Effectiveness of 4-1BB-costimulated HER2-targeted chimeric antigen receptor T cell therapy for synovial sarcoma.

Transl Oncol 14(12): 101227, 2021.

渋谷洋平、勝見敬一、平野徹ほか

高齢者脊椎脆弱性骨折に対する最小侵襲後方固定術.

整形外科最小侵襲手術ジャーナル 101: 38-44, 2021.

Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, et al

Impact of the flexibility of the spinal deformity on low back pain and disc degeneration in adult patients nonoperatively treated for adolescent idiopathic scoliosis with thoracolumbar or lumbar curves.

Spine Deform. 10(1): 134-140, 2022.

大橋正幸、渡辺慶、平野徹ほか

特発性側彎症における椎体変形の3次元的評価法の確立と骨代謝動態からみた機序解明.

新潟県医師会報 862: 8-9, 2022.

Watanabe K, Ohashi M, Hirano T, et al

Evaluating flexibility and predicting curve correction using fulcrum-bending radiographs in Lenke type 2 adolescent idiopathic scoliosis.

J Orthop Sci. Epub ahead of print, 2022.

渡辺慶、大橋正幸、平野徹ほか

成人脊柱変形に対する矯正固定術後の冠状面アライメント不良.

脊椎脊髄ジャーナル 34(11): 881-887, 2022.

## 論文(総説)

生越章、川島寛之、有泉高志、大池直樹、村山雄大、今井千速.

骨・軟部腫瘍における免疫環境と免疫治療.

BIO Clinica 36(12): 1179-1181, 2021.

## 論文(症例報告)

若杉正嗣、平野徹、生越章ほか

脊椎術後に輸血関連急性肺障害(TRALI)を発症した1例.

整形・災害外科 64(4): 491-496, 2021.

Minato K, Hirano T, Kawashima H, Yamagishi T, Watanabe K, Ohashi M, Ogose A, Endo N.

Minimally invasive Spinal Stabilization with denosumab before total spondylectomy for a collapsing lower lumbar spinal giant cell tumor.

Acta Medica Okayama 751(1): 95-101, 2021 (補遺).

鄭賢皓、竹内俊、若杉雅嗣、佐野博繁、植木将人、白旗正幸、目良恒、平野徹、生越章.

前立腺癌の骨転移と鑑別を要した照射後骨肉腫の1例.

新潟整外会誌 36(2): 115-119, 2020 (補遺).

## 著書など

生越章.

良性骨腫瘍および腫瘍類似疾患.

今日の整形外科治療指針 第8版, 169-171頁, 医学書院, 2021.

平野徹.

[手足のしびれ] 腰や腹回りも突っ張る。対処法は？

新潟日報朝刊 みんなの診察室, 新潟日報, 2021.

平野徹.

脊髓空洞症.

今日の臨床サポート (改訂), <https://info.clinicalsup.jp/>, Elsevier Japan, 2022.

## 学会・研究会・講演会

Ogose A et al

New surgical technique for the hyper-vascular soft tissue tumors (Circumferential Parallel Ligation :CPL)

13th APMSTS (口演)

(岡山, 2021年4月21日～23日)

目良恒.

関節治療における再生医療研究の現状 ～基礎研究とその出口戦略を考える.

旭化成社内講演会 (口演・Web)

(南魚沼市, 2021年4月21日)

平野徹、勝見敬一、若杉正嗣ほか

腰椎後方椎体間固定術におけるドレーンの太さは術後出血量に影響するか？

第50回日本脊椎脊髄病学会 (ポスター)

(京都, 2021年4月22日～24日)

平野徹、勝見敬一、若杉正嗣ほか

腰椎変性疾患に対する後方椎体間固定術において術後6時間での出血量は術後総出血量を予測する重要な指標である.

第50回日本脊椎脊髄病学会 (口演)

(京都, 2021年4月22日～24日)

平野徹、勝見敬一、若杉正嗣ほか

腰椎変性疾患に対する後方椎体間固定術における周術期出血量に関する検討.

第94回日本整形外科学会学術総会 (口演)

(東京, 2021年5月20日～21日)

井渕慎弥、宮坂大、坂上敦、堂前洋一郎、湊泉、川島寛之.

変形性股関節症における小転子以遠での大腿骨長差 (3D) -THA 術中脚長補正のために-

第94回日本整形外科学会学術集会 (ポスター・Web)

(2021年5月20日～21日)

目良恒、谷藤理、望月友晴、川島寛之、生越章.

人工膝関節全置換術(TKA)の術後期待度低下例における痛みの破局的思考尺度(PCS)の術前予測値の検討.

第94回日本整形外科学会学術集会 (ポスター)

(東京, 2021年5月20日～23日)

五十嵐哲也、目良恒、鄭賢皓、荒引剛、白旗正幸、平野徹、川島寛之、生越章。

当科における整形外科手術後に脳梗塞を発症した症例の検討。

第 118 回東北整形災害外科学会（口演・Web）

（秋田，2021 年 6 月 4 日）

目良恒、若井崇央、近藤はるな、谷藤理、望月友晴、川島寛之、生越章。

TKA における術前の痛みの破局的思考尺度（PCS）と術後 1 年の治療成績との相関。

第 51 回日本人工関節学会（口演）

（横浜，2021 年 7 月 7 日）

井瀨慎弥、宮坂大、堂前洋一郎、湊泉、川島寛之。

変形性股関節症における小転子以遠での大腿骨長差（3D）－THA 術中脚長補正のために－

第 51 回人工関節学会（発表・Web）

（2021 年 7 月 7 日～8 日）

生越章、平野徹、目良恒、白旗正幸、植木将人、荒引剛、川島寛之。

一般病院の整形外科におけるがん診療の実態調査。

第 54 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会（口演）

（広島，2021 年 7 月 15 日～16 日）

生越章、平野徹、目良恒、白旗正幸、植木将人、荒引剛、川島寛之。

軟部腫瘍性病変における悪性病変の発生頻度調査。

第 54 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会（口演）

（広島，2021 年 7 月 15 日～16 日）

目良恒、富山泰行、川島寛之。

軟骨分化能に寄与する脂肪幹細胞由来の miRNA の探索。

第 40 回日本運動器移植・再生医学研究会（口演・Web）

（広島，2021 年 9 月 25 日）

井瀨慎弥、宮坂大、坂上敦、堂前洋一郎、湊泉。

見落としとしてはいけない鼠径部痛「閉鎖孔ヘルニアの 1 例」。

第 34 回日本臨床整形外科学会学術集会（ポスター・Web）

（2021 年 10 月 4 日）

目良恒、生越章。

膝関節の初期構造変化の診断における変形性膝関節症患者機能尺度（JKOM）の有用性の検討。

第 34 回日本臨床整形外科学会学術集会（一般口演・Web）

（新潟，2021 年 10 月 4 日～29 日）

井瀨慎弥、宮坂大、堂前洋一郎、湊泉。

股関節放射状 MRI における大腰筋腱の本数。

第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会（発表・Web）

（2021 年 10 月 14 日～15 日）

井瀨慎弥、宮坂大、堂前洋一郎、湊泉。

股関節放射状 MRI における大腰筋腱の本数。

第 48 回日本股関節学会学術集会（ポスター・Web）

（2021 年 10 月 22 日～23 日）

Tomiyama Y, Mera H, Ishibasi O, Okuda S, Kawashima H.

Exploration of the miRNAs that contribute chondrogenic differentiation, derived from adipose tissue-derived mesenchymal stem cells.

第 34 回日本軟骨代謝学会（口演・Web・ショートプレゼンテーション）（岡山，2022 年 2 月 18 日～19 日）

目良恒、大澤(近藤) はるな、若井崇央、谷藤理、望月友晴、川島寛之、生越章.

人工膝関節全置換術における止血帯およびトラネキサム酸静脈内投与による出血対策の検証.

第 52 回日本人工関節学会（ポスター・Web）（京都，2022 年 2 月 25 日～26 日）

井瀨慎弥、宮坂大、坂上敦、堂前洋一郎、湊泉.

MRI による大腰筋腱と腸骨筋腱の評価－腸腰筋インピンジメントの原因を探る－

第 52 回人工関節学会（発表・Web）（2022 年 2 月 25 日～26 日）

富山泰行、目良恒、石橋宰、奥田修二郎、川島寛之.

軟骨分化能に寄与する脂肪幹細胞由来の miRNA の探索.

第 21 回日本再生医療学会総会（口演・Web・ショートトーク）（東京，2022 年 3 月 17 日）

## 研究費(科学研究費)

生越章：代表 基盤研究費（C）21K09197 2021～2024 年度

良悪性中間群骨軟部腫瘍における免疫環境の解析と新規治療法の開発

平野徹：代表 基盤研究費（C）21K09222 2021～2023 年度

小児腰痛の心理社会的要因および生活の質との関連性に関する研究

目良恒：代表 基盤研究費（C）21K09245 2021～2023 年度

関節内の細胞外小胞体による局所恒常性維持の機序解明

## 論文(総説)

米岡有一郎、岡田正康.

下垂体の肥大.

脳神経外科 49(2): 301-315, 2021.

## 論文(症例報告)

Yoneoka Y, Seki Y, Akiyama K, Sakurai Y, Ohara N, Hasegawa G.

Prolonged Postoperative Pyrexia and Transient Nonnephrogenic Vasopressin-Analogue-Resistant Polyuria following Endoscopic Transsphenoidal Resection of an Infundibular Epidermoid Cyst.

Case Rep Neurol Med: 2021:6690372, 2021.

Yoneoka Y.

Letter to the Editor Regarding "Spontaneous Regression in Intracranial Germinoma: Case Report and Literature Review".

World Neurosurg 151: 305, 2021.

Yoneoka Y, Seki Y, Akiyama K.

Calvarium Subperiosteal Hematoma in a 12-Year-Old Boy.

Cureus 13(7): e16550, 2021.

Yoneoka Y, Seki Y, Akiyama K.

"Vascular" Korsakoff Syndrome With Bilaterally Damaged Mammillothalamic Tracts: Insights Into the Pathogenesis of "Acute" Korsakoff Syndrome As Acute-Onset Irreversible Anterograde Amnesia.

Cureus 13(11): e19472, 2021.

## 学会・研究会・講演会

米岡有一郎、櫻井祐貴、小原伸雅.

漏斗部類上皮腫術後の治療抵抗性多尿.

第94回日本内分泌学会学術総会 (ポスター・Web)

(2021年4月22日～24日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

頭蓋骨膜下血腫の少年例.

第49回日本小児神経外科学会 (口演)

(福島市, 2021年6月4日～5日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

破裂瘤はどれか？

第 78 回新潟脳卒中研究会（口演）

（新潟市，2021 年 7 月 17 日）

米岡有一郎.

内視鏡下経鼻経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出術における効果的綿片使用法.

第 26 回日本脳腫瘍の外科学会（口演）

（東京ドームホテル，2021 年 9 月 9 日～10 日）

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

内視鏡下経鼻経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出術における効果的綿片使用法.

第 80 回日本脳神経外科学会学術集会（口演）

（パシフィコ横浜，2021 年 10 月 27 日～30 日）

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

内視鏡下経鼻経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出術における効果的綿片使用法.

第 28 回日本神経内視鏡学会（口演）

（ウインクあいち，2021 年 11 月 18 日～19 日）

米岡有一郎.

漏斗部類上皮腫摘出後の Mollaret's meningitis による視床下部障害.

第 31 回日本間脳下垂体腫瘍学会（口演・Web）

（2021 年 2 月 19 日～20 日）補遺

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

熊による頭部外傷の特徴.

第 44 回日本脳神経外傷学会（口演）

（かがわ国際会議場（高松市），2021 年 2 月 26 日～27 日）補遺

米岡有一郎.

内側縦束症候群の 2 例.

第 46 回日本脳卒中学会総会 STROKE2021（ポスター）

（福岡市，2021 年 3 月 11 日～13 日）補遺

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

少年の骨膜下血腫.

第 60 回日本脳神経外科学会支部会（東北）（口演・Web）

（2021 年 3 月 27 日）補遺

## 皮膚科

### 論文(総説)

藤原浩.

ワークライフバランス : not applicable

皮膚病診療 44(1): 82-83, 2022.

### 著書など

横山彩乃.

帯状疱疹後の痒み

新潟日報朝刊 みんなの診察室, 新潟日報, 2021.

藤原浩.

皮膚科今日の外用薬の基剤ごとの使い分け.

今日の皮膚疾患治療指針 第5版, 211-213頁, 医学書院, 2022.

藤原浩.

褥瘡.

今日の皮膚疾患治療指針 第5版, 678-680頁, 医学書院, 2022.

### 学会・研究会・講演会

横山彩乃、樋口麻衣、藤原浩、澤村武.

adnexal polyp of neonatal skin の1例.

第402回日本皮膚科学会新潟地方会 (口演)

(新潟, 2021年6月26日)

樋口麻衣、横山彩乃、藤原浩、長谷川剛、高木成子.

hypomelanosis of Ito の1例.

第403回日本皮膚科学会新潟地方会 (口演)

(新潟, 2021年9月11日)

樋口麻衣、横山彩乃、藤原浩、長谷川剛、勝海洸司、伊藤雅章.

Rhabdomyomatous mesenchymal hamartoma の1例.

第404回日本皮膚科学会新潟地方会 (口演)

(新潟, 2021年12月11日)

樋口麻衣、横山彩乃、藤原浩、長谷川剛.

Extramammary Paget's disease (EPD)に対する photodynamic diagnosis (PDD)の施行経験.

第405回日本皮膚科学会新潟地方会 (口演)

(新潟, 2022年3月6日)

論文(原著)

Oshikane T, Kaidu M, Abe E, Ohta A, Saito H, Nakano T, Honda M, Tanabe S, Utsunomiya S, Sasamoto R, Ishizaki F, Kasahara T, Nishiyama T, Tomita Y, Aoyama H, Ishikawa H.

A comparative study of high-dose-rate brachytherapy boost combined with external beam radiation therapy versus external beam radiation therapy alone for high-risk prostate cancer.

J Radiat Res. 62(3): 525-532, 2021.

Watanabe K, Kawaguchi G, Ikeda Y, Hara N, Nishiyama T.

Multidisciplinary Therapy in Men with Newly Diagnosed Oligometastatic Prostate Cancer.

Res Rep Urol 13: 565-571, 2021.

Saito T, Komatsubara S, Hara N, Nishiyama T, Katagiri A, Ishizaki F, Hatano A, Komeyama T, Hanyu S, Terunuma M, Imai T, Go H, Iida H, Kurumada S, Yamaguchi S, Takeda K, Ando T, Hoshii T, Kasahara T, Tomita Y.

Significance of PSA Screening in Niigata, Japan: Survey of Actual Status of New Cases of Prostate Cancer.

Res Rep Urol 13: 859-866, 2021.

論文(症例報告)

Watanabe K, Hasegawa G, Ikeda Y, Hara N, Nishiyama T.

Clear Cell Adenocarcinoma of the Ureter Similar to Clear Cell Renal Cell Carcinoma Histology.

Case Rep Urol. 2021: Article ID: 5599014, 2021.

Ikeda T, Hasegawa G, Kawaguchi G, Ikeda Y, Hara N, Nishiyama T.

Successful Response of Pembrolizumab Rechallenge after Radiotherapy for a Patient with Bladder Cancer of Nonresponse of Pembrolizumab First Challenge.

Case Rep Urol. 2021: Article ID: 9087529, 2021.

## 論文(原著)

Saijo K, Ueki Y, Tanaka R, Yokoyama Y, Omata J, Shodo R, Yamazaki K, Togashi T, Okabe R, Matsuyama H, Honda K, Sato Y, Morita Y, Takahashi K, Horii A.

Treatment Outcome of External Auditory Canal Carcinoma: The Utility of Lateral Temporal Bone Resection.  
Front Surg 30(8): 708245, 2021.

## 著書など

本田耕平.

花粉症舌下免疫療法で根治も.

新潟日報朝刊 みんなの診察室, 新潟日報, 2021.

## 学会・研究会・講演会

孔憲和、大口明日香、本田耕平.

甲状腺癌再発癌に対し鎖骨付き DP 皮弁による気管再建を施行した 1 例.

第 92 回日耳鼻新潟県地方部会 (口演)

(新潟市, 2021 年 12 月 11 日)

## 論文(症例報告)

Yoshida K, Kashima K, Koda Y, Suzuki M, Honda K and Kazama Y.

Actinomycosis of the Fallopian Tube with Gas Inside: A Case Report.

Gynecol Obstet Case Rep 7(145): ISSN 2471-8165, 2021.

川浪真理、加嶋克則、山田大輔、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、鈴木美奈、風間芳樹.

ダイナミック CT 検査にて診断し腹腔鏡下手術を施行した卵巣妊娠の 1 例.

新潟産科婦人科学会 会誌 115(2): 67-70, 2021.

加嶋克則、鈴木美奈、山田大輔、川浪真理、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、風間芳樹.

外陰部腫瘤を契機に診断され腹腔鏡を併用し摘出した Nuck 管水腫内子宮内膜症の一例.

新潟産科婦人科学会 会誌 115(2): 96-99, 2021.

鈴木美奈、山田大輔、川浪真理、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、加嶋克則、風間芳樹、本多啓輔、谷村悟.

続発性不妊症に対し子宮鏡および腹腔鏡にて修復術を施行した帝王切開癒痕症候群 5 症例.

新潟産科婦人科学会 会誌 115(2): 100-105, 2021.

霜鳥真、本多啓輔、長谷川順紀、甲田有嘉子、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、風間芳樹.

診断後、短時間で胎児機能不全に至った胎児卵円孔早期狭小化の一例.

新潟産科婦人科学会 会誌 116(1): 20-24, 2022.

## 学会・研究会・講演会

甲田有嘉子、加藤奈都美、安田麻友、吉田邦彦、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、風間芳樹.

微小な成熟嚢胞性奇形腫を伴った抗 NMDAR 抗体陰性辺縁系脳炎の一例.

第 61 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 (口演・Web)

(横浜市, 2021 年 9 月 11 日)

甲田有嘉子、加嶋克則、加藤奈都美、安田麻友、吉田邦彦、佐藤ひとみ、鈴木美奈、風間芳樹.

腹腔鏡下手術を施行した後腹膜嚢胞の一例.

第 189 回新潟産科婦人科集談会 (口演)

(新潟市, 2021 年 10 月 30 日)

加嶋克則.

からだにやさしい治療とは.

塩沢医会 (口演)

(南魚沼市, 2021 年 12 月 2 日)

加藤奈都美、安田麻友、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、鈴木美奈、風間芳樹、加嶋克則.

胎児発育不全で母体搬送され、分娩後にオスラー病と診断された一例.

第 190 回新潟産科婦人科集談会（口演）

（新潟市，2022 年 2 月 27 日）

## 研究費(科学研究費)

加嶋克則：分担 基盤研究費（C）17K09197 2017～2022 年度

妊娠高血圧症候群の発症予防を目的とした解毒酵素遺伝子と嗜好品摂取との相互作用解析

加嶋克則：分担 基盤研究費（C）20K10448 2020～2022 年度

子宮内胎児発育不全の発症予防を目的とした遺伝子多型と嗜好品摂取との相互作用解析

**研究費(科学研究費)**

川口弦：代表 若手研究 18K15626 2018～2021 年度

革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカの開発および臨床応用

**研究費(科学研究費)**

渡部達範：分担 基盤研究費（B）20H03775 2020～2022 年度

なぜ神経障害性疼痛は傷害された末梢神経の支配領域を超えて広がるのか？

## 論文(原著)

Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Salazar ARE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga M, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R.

Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study.

Oral Sci Int 19(2): 79-87, 2021.

## 論文(症例報告)

Satoshi Maruyama, Taisuke Mori, Manabu Yamazaki, Tatsuya Abé, Eijitsu Ryo, Hirovuki Kano,

Go Hasegawa & Jun-ichi Tanuma.

Central mucoepidermoid carcinoma arising directly from a glandular odontogenic cyst of the mandible: a case report.

Diagnostic Pathology 16(1): 61. doi: 10.1186/s13000-021-01124-0, 2021.

須田大亮、竹内玄太郎、丸山智、小林正治、加納浩之.

広範な口腔潰瘍を契機に診断に至った多発血管炎性肉芽腫症の1例.

日本口腔外科学会雑誌 68(1): 8-14, 2022.

## 学会・研究会・講演会

遠藤諭、新美奏恵、長谷場大地、加藤祐介、小林正治.

外科的矯正治療に伴う顎関節症状と下顎頭形態の変化.

第34回日本顎関節学会学術大会 (ポスター・Web)

(2021年10月23日～11月23日)

角田聡美、松原ちえみ、山本佳奈、青柳友美、井口千絵、加藤祐介、加納浩之.

オーラルフレイルについて.

楽語い講座 (口演)

(小出, 2022年1月19日)

加納浩之.

魚沼基幹病院における周術期等口腔機能管理 ～新体制導入後の効果と問題点～

東北がんプロ 集学的がん治療に対応する口腔支持療法研修コース (口演・Web)

(2022年2月25日)

**研究費(科学研究費)**

長谷川剛：分担 基盤研究費（C）20K09860 2020～2022年度

抗ストレス薬は糖尿病患者の創傷治癒を促進するか？

## 論文(Proceedings)

目崎恵.

外部委託職員と共働して行う環境衛生.

日本環境感染学会誌 36(4): 190-195, 2021.

## 学会・研究会・講演会

目崎恵.

地域で取り組む感染対策 ～施設の枠を超えた活動～

第9回日本感染管理ネットワーク学会学術集会 (講演・Web)

(山口, 2021年5月14日～6月13日)

目崎恵.

コロナ渦における地域医療福祉連携.

落語い講座 (講演)

(魚沼市, 2021年7月21日)

目崎恵.

感染症の基礎知識と予防策.

デイサービスセンターやまびこ (講演)

(十日町市, 2021年7月26日)

目崎恵.

子どもと職員を守る感染症の予防・対応・管理について.

新潟県保育士会パワーアップセミナー2 (講演)

(新潟市, 2021年7月29日～30日)

目崎恵.

障害者福祉施設における感染対策.

新型コロナウイルス感染症防止対策研修会 (講演・Web)

(2021年8月1日)

目崎恵.

高齢者介護施設における感染対策.

魚沼市養護老人ホーム南山荘 (講演)

(魚沼市, 2021年8月18日)

目崎恵.

高齢者介護施設における感染予防対策リーダーの養成.

第36回日本環境感染学会 (教育講演)

(名古屋, 2021年9月19日～20日)

目崎恵.

アルコール製剤皮膚消毒により発赤反応が出る患者への対応.

第36回日本環境感染学会 (口述)

(名古屋, 2021年9月19日~20日)

目崎恵.

新型コロナウイルス感染対策の基礎知識.

看護師職能II「新型コロナウイルスに関する3大講演」(講演・Web)

(新潟市, 2021年11月3日)

目崎恵.

介護福祉施設における感染対策.

南魚沼市感染予防対策リーダーフォローアップ研修会(講演)

(南魚沼市, 2021年11月29日)

目崎恵.

透析施設における新型コロナウイルス感染対策.

Niigata Dialysis Conference ~Covid19~ (講演・Web)

(南魚沼, 2022年1月18日)

学会・研究会・講演会

高村誠、種村瞭、仁谷美希、関口陽子、岩田真子、山岸宏和、鈴木さくら、今成拓、矢吹剛、寺口敦、南場信人、五十嵐詠美、中島楓、貝瀬真由美。

電子カルテの eXChart 機能を活用した疑義照会業務の入力システム構築とその効果。

第 31 回日本医療薬学会年会（ポスター・Web）

（熊本，2021 年 10 月 15 日～11 月 30 日）

寺口敦、関口陽子、高村誠、山田宜和、岩田真子、山岸宏和、鈴木さくら、今成拓、矢吹剛、小森裕、五十嵐詠美、南場信人、種村瞭、仁谷美希、中島楓、貝瀬真由美、須田剛士。

PPI フォーマリナー作成と薬剤師の処方提案による薬剤費用抑制効果。

第 31 回日本医療薬学会年会（ポスター・Web）

（熊本，2021 年 10 月 15 日～11 月 30 日）

## 著書など

松本一則.

第 24 回 CT サミット報告 整形 MPR・3D のための Volume Data の味付け一技を組み合わせて最高の一品を！  
月刊インナービジョン Vol.36 No.11, 12-15 頁, 株式会社インナービジョン, 2021.

## 学会・研究会・講演会

松本一則.

整形 MPR・3D のための Volume Data の味付け 一技を組み合わせて最高の一品を！  
第 24 回 CT サミット (口述・Web) (2021 年 8 月 21 日)

松本一則.

その検査、全力を尽くしていますか？—御高齢の方に対する撮影技術とそれより大切なこと—  
令和 3 年度市町村放射線画像研究会「秋季研究会」×Iwate KOKOROZASHI conference (口述・Web)  
(2021 年 9 月 25 日)

桑原亮太、棚邊哲史、栗林俊輝、井開章博、高頭浩正、宇都宮悟、川口弦.

IMRT QA における 3D 患者線量検証ソフトウェアの有用性の検討.  
日本放射線技術学会 第 49 回秋季学術大会 (口述) (熊本, 2021 年 10 月 15 日)

桑原亮太.

次世代対応医学物理士短期臨床研修コースを終えて.  
2021 年度 新潟大学がんプロ医学物理セミナー (口述) (新潟, 2022 年 1 月 22 日)

## 臨床検査科

### 学会・研究会・講演会

坂西清、杉山貴大、池田奈央、小池敦、柴田真由美。

当院における新型コロナウイルス検査の構築と推移。

2021年度 第30回魚沼シンポジア（口頭）

（新潟，2021年11月13日）

渡邊亮太、坂西清、星山良樹、田端篤、草間孝行。

新潟県内における微生物検査の内部精度管理に関するアンケート調査結果。

第94回新潟県臨床検査学会（口頭）

（新潟，2021年12月4日）

加藤瑞希、小林徹、林美佳子、柴田真由美、関義信。

寒冷凝集素症の診断・治療に温度作動域測定が有用であった一例。

第94回新潟県臨床検査学会（口頭）

（新潟，2021年12月4日）

論文(原著)

Yoichi Sato, Jiahe Qiu, Takuo Hirose, Takahiro Miura, Yasunori Sato, Masahiro Kohzuki, Osamu Ito.  
Metformin slows liver cyst formation and fibrosis in experimental model of polycystic liver disease.  
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 320(4): G464-G473, 2021.

木村和樹、神林幸生、白井信行、山本卓、佐藤陽一.  
糖尿病と関連のある臓器.  
理療 51(1): 38-49, 2021.

Takafumi Abe, Yoshihiro Yoshimura, Ryota Imai, Yuichiro Yoneoka, Atsuhiko Tsubaki, Yoichi Sato.  
Impact of Phase Angle on Physical Function in Patients with Acute Stroke.  
J Stroke Cerebrovasc Dis. 30(9): 105941, 2021.

Jiahe Qiu, Yoichi Sato, Lusi Xu, Takahiro Miura, Masahiro Kohzuki, Osamu Ito.  
Chronic Exercise Protects against the Progression of Renal Cyst Growth and Dysfunction in Rats with Polycystic  
Kidney Disease.  
Med Sci Sports Exerc. 53 (12): 2485-2494, 2021.

Yoichi Sato, Yoshihiro Yoshimura, Takafumi Abe.  
Phase Angle as an Indicator of Baseline Nutritional Status and Sarcopenia in Acute Stroke.  
J Stroke Cerebrovasc Dis. 31(1): 106220, 2022.

Toshiaki Tamura, Yasuhiro Tanaka, Yoshihiro Watanabe, Katsuro Sato.  
Relationships between maximum tongue pressure and second formant transition in speakers with different types  
of dysarthria.  
PLoS One 17(3): e0264995, 2022.

論文(症例報告)

Yoshihiro Watanabe, Toshiaki Tamura, Ryota Imai, Koki Maruyama, Mayumi Iizuka, Satomi Ohashi,  
Seigo Yamaguchi, Tatsunori Watanabe.  
High-flow nasal cannula oxygen therapy was effective for dysphagia associated with respiratory muscle paralysis  
due to cervical spinal cord injury: A case report.  
Medicine (Baltimore) 100(32): e26907, 2021.

## 学会・研究会・講演会

阿部貴文、佐藤陽一、今井遼太、吉村芳弘。

急性期脳卒中患者の入院時の Phase angle は急性期退院時の身体機能に関連する。

第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会（口述・Web）

（2021 年 6 月 10 日～13 日）

佐藤陽一。

運動療法の基礎とリスク管理。

糖尿病に対する理学療法の展開（口述）

（新潟，2021 年 8 月 21 日）

関悟。

背部外傷患者の離床支援 ～スライディングシートの特性を活かして～

第 17 回新潟県作業療法学会（口述・Web）

（2021 年 10 月 16 日）

近藤孝覚。

外泊チェックシートの導入により自宅退院への不安軽減が得られた症例。

第 17 回新潟県作業療法学会（口述・Web）

（2021 年 10 月 16 日）

相楽日奈子。

自助具の選定と段階付けによって中等度運動麻痺・重度感覚障害にアプローチした症例～食事動作への介入を中心に～

第 17 回新潟県作業療法学会（口述・Web）

（2021 年 10 月 16 日）

皆川勝。

意味のある作業に焦点を当てた介入により主体的な生活獲得に至った一例。

第 17 回新潟県作業療法学会（口述・Web）

（2021 年 10 月 16 日）

佐藤陽一、吉村芳弘、阿部貴文。

エネルギー摂取量はサルコペニアのある急性期脳卒中患者の自宅退院に関連する：後ろ向きコホート研究。

第 8 回日本サルコペニア・フレイル学会大会（口述・Web）

（大阪，2021 年 11 月 6 日～7 日）

阿部貴文、佐藤陽一、今井遼太、吉村芳弘。

急性期脳卒中患者の骨格筋量と位相角(Phase angle)で定義した入院時サルコペニアが退院時身体機能へ与える影響。

第 8 回日本サルコペニア・フレイル学会大会（口述・Web）

（大阪，2021 年 11 月 6 日～7 日）

関悟。

両側肘関節脱臼後の意欲および ADL 制限に対して自助具の導入が有効であった一例 ～創外固定期間中の介入を中心に～

第 6 回北関東信越ブロック学会（口述・Web）

（2021 年 11 月 20 日～21 日）

相樂日奈子.

自助具を導入して血糖自己管理が可能となった重度感覚障害を呈した症例.

第 6 回北関東信越ブロック学会 (口述・Web)

(2021 年 11 月 20 日～21 日)

高橋巧貴.

積極的な麻痺側手使用によって自己効力感の促進へと繋がった一例.

第 6 回北関東信越ブロック学会 (口述・Web)

(2021 年 11 月 20 日～21 日)

阿部貴文.

レジデントのキャリアデザイン.

第 4 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士レジデント合同研修 (口述・Web)

(2021 年 12 月 16 日)

今井遼太.

重症患者における初回離床時のバイタルサインと脳酸素化反応の関連.

理学療法における NIRS 使用に関するミーティング (口述・Web)

(2022 年 1 月 8 日)

阿部貴文、佐藤陽一、今井遼太、吉村芳弘.

急性期脳卒中患者の位相角(Phase angle)が退院時身体機能へ与える影響～男女別のカットオフの算出～

第 11 回日本リハビリテーション栄養学会学術集会 (口述・Web)

(2022 年 1 月 15 日～16 日)

今井遼太.

循環器疾患の理学療法の基礎.

理学療法士講習会基本編 (口述・Web)

(2022 年 2 月 23 日)

## 受賞

阿部貴文：最優秀演題賞

急性期脳卒中患者の位相角(Phase angle)が退院時身体機能へ与える影響～男女別のカットオフの算出～

(第 11 回日本リハビリテーション栄養学会, 2021 年 1 月) 補遺

## 学会・研究会・講演会

遠藤義幸、木曾匡、今井南、本間竜海、大平洋介、勝又稔、荒引剛、若杉正嗣、勝見敬一、平野徹。

腰椎椎弓根スクリュー挿入術におけるスクリュー電気刺激誘発筋電図の有用性。

第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会（口演・Web）

（京都，2021 年 4 月 23 日）

木曾匡、遠藤義幸、勝又稔、飯野則昭。

逆濾過式自動プライミングでの空気遺残と治療効率への影響。

第 66 回日本透析医学会学術集会（ポスター・Web）

（横浜市，2021 年 6 月 5 日）

遠藤義幸、木曾匡、小林広武、鳴海大輔、勝又稔、笠井督雄。

当院における遠隔モニタリングデータ送信不能事例の検討。

第 67 回日本不整脈心電学会学術大会（口演・Web）

（東京，2021 年 7 月 2 日）

遠藤義幸。

人工呼吸器の加温加湿をもう一度考えてみよう。

第 29 回新潟呼吸ケアセミナー（口演・Web）

（新潟，2021 年 9 月 18 日）

## 受賞

遠藤義幸：優秀演題賞

腰椎椎弓根スクリュー挿入術におけるスクリュー電気刺激誘発筋電図の有用性。

（第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会，2021 年 10 月）

**学会・研究会・講演会**

恩田佳代子.

食形態の共有化から始まる連携～魚沼地域摂食嚥下診療研究会栄養分科会の取り組み～

第8回魚沼地域摂食嚥下診療研究会（口演・Web）

（新潟，2021年11月24日）

## 学会・研究会・講演会

川上文啓、市川佳和、山口征吾.

当院におけるスキー、スノーボード外傷に対するアンケート結果の分析.

第35回東北救急医学会学術集会（口演）

（新潟，2021年7月10日）

鈴木雄基、榎本圭馬、須田剛士、山口征吾.

当院で経験した上部消化管異物除去について.

第79回新潟救急医学会（口演）

（新潟，2021年7月31日）

南雲良美、本田康裕.

新人看護師対象「急変シミュレーション」研修受講後の成果.

看護研究交流センター 地域課題研究（口演）

（新潟，2021年10月2日）

小川るり子.

暴露対策のできること・できないこと ～魚沼基幹病院の場合～

N i C S（新潟県がん化学療法看護認定看護師会）（講師・世話人）

（新潟市，2021年12月4日）

渡辺真由美、岡村さやか、山崎文雄.

当院のせん妄対策のシステム作り（経過報告）

第18回新潟県医療安全/感染管理懇話会学術集会（口頭発表）

（新潟市，2021年12月18日）

青木瞳.

放射線治療中・終了後の継続的支援に向けた取り組みの現状.

第5回新潟がん看護研究会学術集会（講師・Web）

（新潟市，2022年2月23日）

## 歯科口腔外科

松原ちえみ、山本佳奈、青柳友美、角田聡美、井口千絵、関ひろみ、加藤祐介、加納浩之。

当科における周術期等口腔機能管理対象者の検討 ～新体制導入後の効果と問題点について～

## 医療安全管理部

星野靖、高頭浩正、関口陽子、今井直美、井口啓太、藤原浩。

簡易報告書への変更によるインシデント報告件数の比較。

## 患者サポートセンター

金井倫子、上村久美、佐藤芳伸、井口真由美、小林純子、樋口優輔、今成拓、飯野則昭、甲田亮、吉澤優太。

魚沼地域の医療機関における、腹膜透析患者の受け入れ拡大実現に至った 2 例の紹介。

## 薬剤部

寺口敦、山岸宏和、鈴木さくら、今成拓、矢吹剛、五十嵐詠美、南場信人、中島楓、関口陽子、須田剛士。

PPI フォーミュラリー作成と薬剤師の処方提案による薬剤費用抑制効果。

## 薬剤部

高村誠、種村瞭、仁谷美希、寺口敦、岩田真子、貝瀬真由美、寺島健史。

みえる様に振りわけたい ～eXChart 機能を活用した疑義照会業務のミエル化作戦～

## 放射線技術科

上村直史、桑原亮太、丸山暢之、高頭浩正、川口弦。

長尺 FPD 装置追加導入による全脊椎撮影検査時間及び患者待ち時間の比較。

## 臨床検査科

杉山貴大、池田奈央、坂西清、柴田真由美、長谷川剛。

全自動核酸精製装置「MagNA Pure 24」と核酸手抽出との比較。

## 臨床検査科

加藤瑞希、小林徹、林美佳子、柴田真由美、関義信。

寒冷凝集素症の診断・治療に温度作動域測定が有用であった一例。

## 臨床検査科

山倉貴大、馬場満、石黒杏佳、杉山萌、柴田真由美、関義信。

HBs 抗体検査での非特異的反応の一例。

リハビリテーション技術科

渡辺慶大、今井遼太、丸山航輝、小林優樹、今井滉太、本田恵理、川上文啓、片桐龍一、仙木和真、渡部達範.  
大腿骨近位部骨折患者におけるフレイルと嚥下障害の有病率調査.

栄養管理科

常山智佳、恩田佳代子、本田恵理、瀬下仁美、太田実加子、笠原夏実、小池萌、鈴木博、田嶋直哉.  
食物経口負荷試験と食事指導を繰り返し、除去解除に至った重症食物アレルギーの一例.

栄養管理科

笠原夏実、恩田佳代子、本田恵理、瀬下仁美、太田実加子、常山智佳、小池萌、長谷川剛、大竹裕美.  
双極Ⅰ型障害のある肥満患者への栄養指導効果 ～行動変容に合わせたアプローチ～

栄養管理科

本田恵理、恩田佳代子、星野倫代、渡辺慶大、小林優樹、上村久美、寺島健史.  
神経難病患者の QOL 維持に向けて～早期胃瘻造設による経管栄養の併用と食事の工夫～

看護部

峯嶋恵、泉沢雅子、高橋初美、目黒美由紀、熊木悠、中村龍星、佐藤涼子、伊藤竜、大橋和政.  
わたしたちの COVID-19 戦争 ～500 日の軌跡～

看護部

青木瞳、中川早織、佐藤加代子、森山邦子、栗林俊輝、井開章博、桑原亮太、高頭浩正、渡辺真由美、川口弦.  
乳がん患者における放射線治療専用自作ウェアの評価.

## 院内研修会

### <UKB Case Conference>

関義信.

胞巣型横紋筋肉腫の1例.

(2021年4月27日)

小熊文昭.

弓部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の1例.

(2021年4月27日)

小澤鉄太郎.

構語障害、左顔面神経麻痺の1例.

(2021年5月26日)

西山勉.

左尿管損傷の1例.

(2021年5月26日)

小原伸雅.

ステロイド治療薬使用時の注意点について症例提示と簡単な説明.

(2021年6月22日)

平野謙一郎.

腸閉塞(イレウス)の1例.

(2021年6月22日)

甲田亮.

IgM陽性形質細胞型間質性腎炎の1例.

(2021年7月27日)

加藤祐介.

薬剤関連顎骨壊死の1例.

(2021年7月27日)

### <院内感染対策研修会(感染管理委員会)>

伊藤竜.

新型コロナウイルス感染症研修会第3弾「院内クラスターとにならないために」

(2021年7月1日)

目崎恵.

新型コロナウイルス感染症研修会第3弾「もう一度確認しよう!平常時の感染対策」

(2021年7月1日)

阿部聡司.

針刺し切創とウイルス性肝炎について学ぼう「針刺しで問題となるウイルス性肝炎」

(2021年8月27日)

勝又尚美.

針刺し切創とウイルス性肝炎について学ぼう「針刺し切創を防ぐ対策、できていますか？」 (2021年8月27日)

岩田真子.

感染症と抗菌薬について学びませんか？「抗菌薬の適正使用について～なぜ適正使用しないといけないのか？～」  
(2021年12月1日)

田中純太.

感染症と抗菌薬について学びませんか？「感染症治療と血液培養」 (2021年12月1日)

大橋和政.

結核について学びませんか？「結核について」 (2022年3月8日)

岩田真子.

結核について学びませんか？「結核の薬物治療について」 (2022年3月8日)

#### <災害研修会(防災委員会)>

米山良英.

災害発生後の災害対策本部の動き (2021年12月16日)

佐藤抄織.

災害発生後の患者対応 (2022年1月7日)

#### <診療放射線の安全医療のための研修(放射線安全委員会)>

國井正之、上村直史.

医療法改定の概要とポイント (2022年3月11日)

#### <放射線業務従事者教育訓練(放射線安全委員会)>

國井正之.

放射線障害の防止に関する法令及び放射線障害予防規程 (2022年2月2日)

上村直史.

放射線障害の防止に関する法令及び放射線障害予防規程 (2022年3月29日)

<放射線診療業務従事者教育訓練(放射線安全委員会)>

上村直史、金子隼汰.

電離放射線予防規則、放射線の人体への影響及び機器の安全取り扱い (2021年4月5日)

上村直史.

電離放射線予防規則、放射線の人体への影響及び機器の安全取り扱い (2021年6月1日)

<創傷リンクナース研修(褥瘡委員会)>

廣野純子.

①皮膚の基礎知識・スキンケア方法 テープの貼り方. (2021年9月9日)

恩田加代子、廣野純子.

③褥瘡と栄養 創傷治癒過程・基礎疾患との関係. (2021年10月28日)

廣野純子.

④DESIGN-R について. (2021年11月11日)

種村瞭、廣野純子.

⑤創傷ケア用品の選択 (創傷被覆材・外用薬) (2021年11月25日)

廣野純子.

⑥症例検討・まとめ・修了試験 (2021年12月9日)

<化学療法委員会>

小川るり子.

スキルアップ研修 基礎編① (2021年8月19日)

小川るり子.

スキルアップ研修 基礎編② (2021年9月14日)

小川るり子.

スキルアップ研修 曝露対策 (2021年10月21日)

小川るり子.

スキルアップ研修 CV ポート (2021年11月18日)

小川るり子.  
スキルアップ研修 血管外漏出 (2021年12月14日)

小川るり子.  
スキルアップ研修 過敏反応 (2022年1月28日)

小川るり子.  
スキルアップ研修 皮膚障害 (2022年2月8日)

#### <緩和ケア研修会>

関義信.  
全人的苦痛に対する緩和ケア (2021年8月22日)

#### <緩和ケアワーキング>

石田可奈子.  
緩和ケア勉強会「当院の緩和ケア診療体制」「生活のしやすさに関する質問票の使い方」 (2022年1月20日)

#### <感染対策委員会(看護部)>

勝又尚美.  
感染リンクナース研修会 感染対策の基本！標準予防策を学ぼう。 (2021年7月9日)

目崎恵.  
感染リンクナース研修会 血管内カテーテル関連血流感染を防ごう。 (2021年8月6日)

勝又尚美.  
感染リンクナース研修会 尿道カテーテル関連感染を防ごう。 (2021年10月8日)

目崎恵.  
感染リンクナース研修会 手術部位関連感染を防ごう。 (2021年12月10日)

#### <看護部医療安全委員会(看護部)>

小川るり子.  
がん化学療法卒2研修。 (2021年6月15日, 22日)

小川るり子.  
静脈注射に必要な解剖生理・神経損傷. (2021年7月6日, 20日)

小川るり子.  
静脈注射セカンドレベル+研修 (2021年8月24日)

<看護補助者サポート委員会(看護部)>

高橋みはる、星野靖、目崎恵、高橋初美ほか  
看護補助業務従事者研修 (法定研修) (2021年10月14日, 20日, 21日)

高橋初美、今井直美ほか  
看護補助者トピックス研修 (BLS) (2022年1月12日, 20日)

<看護記録委員会(看護部)>

関美恵、櫻井まゆみ、井口花菜、野本義和.  
重症度・医療・看護必要度研修 (2021年9月16日, 28日, 10月7日, 14日)

<看護の質向上委員会(看護部)>

根津美紀、高野久美子、南雲みのり、武田なつみ、滝沢利瑠、松田望、藤井直行.  
PNS 日々リーダー研修 (2021年10月12日)

<教育委員会・現任(看護部)>

内藤麻里ほか  
第1回サポーター研修 (2021年4月12日)

関理恵子ほか  
第1回リーダーシップ研修 (2021年5月10日)

星泰子ほか  
第1回問題解決研修 (2021年5月24日)

星泰子ほか  
第2回問題解決研修 (2021年7月29日)

内藤麻里ほか  
第2回サポーター研修 (2021年9月6日)

関理恵子ほか  
第2回リーダーシップ研修 (2021年10月28日)

関理恵子ほか  
チーム医療研修 (2021年11月26日)

星泰子ほか  
第3回問題解決研修 (2021年12月13日)

豊野一考  
アングーマネジメント研修 (2022年2月3日)

内藤麻里ほか  
第3回サポーター研修 (2022年2月10日)

#### <教育委員会・新人(看護部)>

須田侑梨香、石井美佳ほか  
経管栄養，EDチューブの挿入，吸引。 (2021年4月8日)

関根千晴、熊木悠、若井千明、須田侑梨香、仙木和真、上村佳央里、廣野純子ほか  
バイタルサイン，オムツ交換，酸素吸入，酸素ボンベ，薬の知識。 (2021年4月9日)

上村佳央里、佐藤志津香、若井千明、近藤はるな、井佐龍太郎、阿部貴文、目黒楓也。  
移乗・移送，ポジショニング・廃用症候群の予防。 (2021年4月15日)

須田侑梨香、熊木悠ほか  
採血・筋肉注射 (2021年4月16日)

須田侑梨香、佐藤志津香、今成拓、関八重子ほか  
血糖測定・インスリン (2021年4月22日)

関根千晴、仙木和真ほか  
心電図モニター，十二誘導心電図 フォローアップ研修 (2021年4月23日)

樋口千恵子、山岸宏和。 静脈注射研修① 静脈注射に必要な基礎知識	(2021年5月19日)
関根千晴、仙木和真、鳴海大輔、大平洋介ほか 静脈注射研修②・ミキシング 輸液ポンプ・シリンジポンプ	(2021年5月20日)
上村佳央里、仙木和真、榎本圭馬、山口正嗣、金井修、山口征吾ほか BLS 研修	(2021年5月10日)
須田侑梨香、佐藤志津香ほか 夜勤導入シミュレーション	(2021年5月27日)
柴田真由美、貝瀬眞由美、樋口千恵子。 輸血の基礎知識，麻薬の取り扱い。	(2021年6月10日)
熊木悠・須田侑梨香ほか エンゼルケア，死亡診断書の取り扱い。	(2021年6月25日)
関根千晴ほか フォローアップ研修	(2021年6月25日)
入田貴子、仙木和真、関根千晴ほか フィジカルアセスメント研修	(2021年8月25日)
上村佳央里、石井美佳ほか 急変対応シミュレーション	(2021年10月27日，28日，29日)
関根千晴ほか リフレクション研修 ー看護を振り返る会ー	(2022年3月10日)
須田侑梨香ほか メンバーシップ・ケーススタディ研修①	(2021年7月9日)
須田侑梨香ほか メンバーシップ・ケーススタディ研修②	(2021年9月7日)
須田侑梨香ほか メンバーシップ・ケーススタディ研修③	(2022年2月7日，14日)

<認定看護師会(看護部)>

青木瞳.

放射線治療の基本と看護.

(2021年6月30日)

青木瞳.

放射線食道炎と看護.

(2021年9月22日)

勝又尚美、目崎恵.

細菌検査と抗菌薬.

(2021年10月27日)

山崎文雄.

せん妄.

(2021年11月24日)

関理恵子.

手術看護～やりがいと大切さ～

(2021年12月22日)

高松恵.

新生児の発達ケア.

(2022年1月26日)

入田貴子.

酸素療法の基本.

(2022年2月24日)

<看護師血液研修会(看護部)>

関義信.

FN(1)

(2021年8月12日)

関義信.

FN(2)

(2021年9月28日)

関義信.

オンコロジーイマージェンシー(1)

(2021年10月26日)

関義信.

オンコロジーイマージェンシー(2)

(2022年1月20日)

<放射技術線科安全教育(看護部)>

國井正之、佐藤豊.

放射線科特有リスクに対する啓発活動 (MRI/RI 等)

(2021年4月7日)

<管理栄養科学習会(看護部)>

青木瞳.

放射線性食道炎について.

(2021年11月12日)

<精神科リエゾンチーム(看護部)>

菊地佑、山岸宏和.

せん妄研修

(2022年3月9日)

<認知症ケアワーキング(看護部)>

岡村さやか、山崎文雄.

認知症ケアを知ろう!

(2021年10月1日)

<その他(看護部)>

瀧沢美由紀ほか

緊急帝王切開シミュレーション

(2021年12月28日)

佐藤優、板鼻真奈花、高橋沙矢香.

COVID-19 について.

(2021年9月2日)

山崎文雄.

精神保健福祉法 入院形態と行動制限について.

(2021年5月26日)

関理恵子.

全身麻酔における看護学習会

(2021年6月17日)

角田美沙紀ほか

小児デスカンファレンス

(2021年6月23日)



# Annals of Uonuma Kikan Byoin

VOL.6

発行者 病院長 鈴木 榮一  
教育センター長 高田 俊範

発行 2022年9月30日

発行所 一般財団法人新潟県地域医療推進機構  
魚沼基幹病院  
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132  
TEL 025-777-3200  
FAX 025-777-2811  
<https://www.uonuma-kikan-hospital.jp/>

編集担当 総務課総務係 米山 良英  
※電子データが必要な場合は、編集担当までご連絡ください。



新潟大学地域医療教育センター  
魚沼基幹病院